

### 3県の女性防災現場視察

南海トラフ 技術者ら40人来高

県域を越えて交流す 術者を中心としたグループが2日、高知市を3県の建設業の女性技術者らを訪れ、南海トラフ対策



消波ブロックの設置現場を視察する女性技術者ら  
(2日午後、高知市春野町の戸原海岸)

の工事現場などを視察した。また、県内企業技術者らが活動に加わることも決まった。

3県の計13社の女性技術者らでつくる「なでしこBC連携」4年前に発足し、各県の現場訪問を通じたスキルアップや、女性目線での現場環境の改善に取り組んでいる。南海トラフ対策の研修のためメンバー約40人が本県を初めて訪れた。

一行は、消波ブロックを製造・据え付けしている高知市春野町の戸原海岸の現場や、同市種崎地区の舟倉津波避難センターを視察。避難センターの備蓄倉庫を初めて見たという女性は「これは何に使

うんですか」などと質問しながら興味深そうに見入っていた。

視察に先立ち、福留開発(高知市)と山本建設(幡多郡黒潮町)が「なでしこ」に加わることになり、協定を締結した。福留開発の大場将史常務(37)は「他県の事業者との連携を強め、災害時の道路復旧などの役割を果たしていきたい」と話していた。

(〆井康弘)